

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月7日実施)	総合評価 (3月9日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 生徒の意欲を高める教育課程や授業改善に取り組む。</p> <p>② 外部との連携を図りながら、授業改善を行う。</p> <p>③ 学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>① アクティブラーニング等授業展開の工夫により生徒がより主体的に取り組む授業の実現を図る。</p>	<p>① ・過去二回のアンケート結果を生かすことができるよう教育課程の検討をおこなう。</p> <p>・授業評価や授業見学を計画的に実施し、その結果や内容を教科内及び学校全体で共有する機会を設け、授業改善につなげていく。</p> <p>・授業改善につながる評価方法の検討を継続して行う。</p>	<p>① ・アンケート結果を受けて教育課程の見直しをおこなったか。</p> <p>・授業評価や授業見学を計画的に実施し、その結果を共有することで、改善点を認識し改善につなげられたか。また、その成果が生徒による授業評価に現れたか。</p> <p>・評価方法の検討により授業改善できたか。</p>	<p>① ・教育課程WGにおいて、2年次と3年次の教育課程について検討し、一部選択科目の見直しをおこなった。</p> <p>・授業評価や授業見学を計画的に実施し、研修会や教科会を通して授業改善につなげることができた。</p> <p>・事故防止の視点からの成績処理方法の検討が中心となってしまい、授業改善に向けての評価方法の検討は十分にできなかった。</p>	<p>① ・現行の教育課程の検討に加えて、新学習指導要領についての理解を深める必要がある。</p> <p>・検討・共有した授業改善点を、どのように生徒の指導へつなげていくかについて、さらに成果を追究していく必要がある。</p> <p>・新学習指導要領の趣旨を踏まえての評価方法の検討が今後必要である。</p>	<p>・保護者によるアンケート結果では、「学ぶ楽しさが実感できる。」「生徒の学習意欲を引き出し学力を伸ばしている。」「様々な場面で学習の機会を充実させている。」という項目の肯定的意見が50%なので努力してもらいたい。</p>	<p>① ・生徒の意欲を高める教育課程を見直し改善できた。理系進学を希望する生徒が継続して学べるように2年の選択科目を見直した。また3年で選択する科目についても検討し改善した。</p> <p>・年間を通して計画的に授業見学や生徒による授業評価を実施し、教科による研究授業、教科会での協議、全体での公開研究授業と振り返り等、研修会として全職員で授業改善について共通意識を持つことができた。</p> <p>・保護者からのアンケート結果を受け、組織的な授業改善への取組みをさらに推進する。</p>	<p>① ・新学習指導要領を見据え、現行の教育課程の習得単位について検討する。</p>
2 生徒指導・支援	<p>① 支援教育について全職員が共通理解をもち、支援が必要な生徒に対して適切で組織的な支援をおこなう。</p> <p>② 生徒会活動、部活動、ボランティア活動などを通して、豊かな人間性、望まし</p>	<p>① サポート会議を中心とする生徒情報の共有化により迅速な対応を行う。</p>	<p>① サポート会議の体制や運営を整備し、職員組織で連携し、綿密に対応できるようにする。</p> <p>② 生徒会役員や各行事の実行委員の活動を活発化させることで、生徒主体の行事運営を推進する。</p>	<p>① サポート会議等の取組が、支援を必要とする生徒に活用され、問題解決につながったか。</p> <p>② 行事後の生徒のアンケートでの満足度が70%を上回ったか。</p>	<p>① 従来のスタイルを改善し、全職員に向けての調査や報告会を設定したことにより、全体の意識が高まった。</p> <p>② 事後アンケートでは体育祭については「良かった61%」「普通</p>	<p>① 更に有益にサポート会議等が機能するための細則の作成や改善の必要がある。</p> <p>② 生徒主体型の運営が可能となるように生徒の意識を変革する働きかけをするとと</p>	<p>① 学校の支援体制は評価できる。さらに充実させてほしい。</p> <p>② 保護者アンケートの「生徒は学校生活に満足している。」の項目に肯定的な意見が約80%であることは</p>	<p>① 学校いじめ防止基本方針及びいじめ等防止対策マニュアルを再整備した。またサポート会議のあり方を検討し全職員による調査や報告会など共通理解を図った。</p> <p>・支援が必要な生徒には、SCやSSWの協力を得て適宜ケース会議を開き、よりきめ細かな支援が出来た。</p> <p>② 生徒主体の学校行事が概ね達成された。</p> <p>② 自己有用感や達成感を持つ生徒が増え、学校全体が活気づくように支援していく。</p>	<p>① 学校いじめ防止基本方針及びいじめ等防止対策マニュアルに沿って、より機動的に生徒の指導と支援を行う。</p>

		い社会性、規範意識を育む。				33%」、文化祭については「良かった64%」「普通33%」の数値となり、概ね達成されている。	もに、効率の良い準備・かたづけによって負担が軽減するような方法を模索する。	評価できる。		
3	進路指導・支援	キャリア教育を推進し、生徒の自己実現のため個性と希望に即した進路実現を支援する。	総合的な学習の時間等を効果的、計画的に実施することによりキャリア教育を推進し、生徒の主体的な進路選択を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学体験プログラムやインターンシップ、分野別の説明会を計画的に実施する。 ・放課後等を利用し、大学一般受験、公務員試験、面接などの指導をする。 ・保護者や教員対象の研修会などを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な時期に各企画が実施できたか。 ・各企画が進路選択の参考になったか。 ・実力診断テストや校内各種模擬試験を有効に活用できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね予定されていた時期に各企画が実施できた。 ・総合的な学習の時間を中心とした各企画が生徒の進路選択に効果的であった。 ・校内模擬試験等の実施により、学習意欲を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学体験プログラム、校内模擬試験など幾つかの慣れない企画が時期的に重なり、一部混乱がみられた。業務の整理、計画的な進行が必要と考えられる。 ・大学、企業、外部教育機関などとの連携を深めたキャリア教育を実施する。 	約60%の保護者から「生徒の希望進路の実現に向け、キャリア教育や進路指導が適切に行われている。」と理解が得られていることは評価できるがさらに高めよう努力してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を利用して3年間を通して計画的にキャリア教育を行っている。 ・校内模擬試験等も進路別の実施や回数を増やすなど工夫し、生徒の学習意欲を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」検討ワーキングにおいて、各学年や各グループと連携して3年間を見越したキャリア教育計画をたてる。 ・本校生徒に適した模擬試験を検討し、実施する。
4	地域等との協働	家庭や地域と連携して教育活動を展開し、開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己肯定感の向上につながる地域交流の取組みを推進する。 ・コミュニティスクールを視野に開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭の保育園児参加プログラム等地域交流の取組みを深化させる。 ・コミュニティスクールを視野に学校評議員の構成員を見直す 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校に対する地域の理解度が深まったか。 ・学校評議員会が活性化できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や地域自治体の催し物に参加して交流を深めた。 ・学校評議員の構成員を見直した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校に対する地域の理解度は深まりつつある。 ・防災関係の意見をいただき課題が明確になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動での本校生徒の活躍を新聞記事で知り、近隣地域住民として応援したい。 ・部活動や生徒会による自主的な地域貢献活動について、近隣住民として感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校に対する近隣地域住民の理解が深まりつつある。 ・コミュニティスクールを視野に学校評議員の構成員を見直した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の活動を継続させ、来年度から実施のコミュニティスクールの構成員を検討し、開かれた学校づくりを推進する。
5	学校管理 学校運営	<p>① すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。</p> <p>② 安全・安心な環境を継続する。</p>	<p>① 適切な情報収集、情報提供により全職員で教育課題に取り組む体制を強化する。</p> <p>② 安全・安心な環境維持のため施設設備の充実を図る。</p>	<p>① 業務の効率化を進め、職員が情報交換や情報共有をする機会を効果的に設定する。</p> <p>② PTAと協力し学習環境の整備につとめる。</p>	<p>① 職員が情報交換や情報共有する機会が効果的に設定できたか。</p> <p>② PTAと協力して、学校の環境整備ができたか。</p>	<p>① 各グループ、ワーキンググループや教科等が必要に応じて情報を共有し課題解決に取り組む機会を設定することができた。</p> <p>② 花植え、校内清掃などPTAと協力して環境整備につとめた。</p>	<p>① より効果的な情報交換や情報共有の機会を設定し課題に取り組む。</p> <p>② 更なる環境整備が必要である。</p>	<p>②70%強の保護者から「安全で安心な学習環境が作られている」という意見をもらったことは評価できる。</p>	<p>① 各ワーキンググループや教科等の情報共有を効果的に行うことができた。そのため課題を解決することができた。</p> <p>② PTAと事務部の協力により、安全で安心な学校生活がおくれる学習環境が整ってきた。</p>	<p>①今年度の働き方をさらに推し進め、PDCAサイクルにより課題を解決していく。</p>